

令和8年度 大阪府立茨木工科高等学校 第1回学校運営協議会（定時制部会）議事録

1. 日時

令和8年6月12日（金） 午後2時00分～3時30分

2. 場所

新棟展開教室

3. 出席者

学校運営協議会委員（5名）

後援会会長 川口 雅夫

学校医兼産業医 田中 孝二

ユービック情報専門学校前校長 北村 翼

大阪府立茨木工科高等学校 前准校長 小川 寿之

保護者 宮川 典恵

教職員（4名）

准校長 南出 孝明（事務局）

教頭 宇井 友寿（事務局長）

主査 柏木 由紀子

書記 井上 楓宇揮

（以上全 9 名）

4. 欠席者

学校運営協議会委員（1名）

保護者 元野 絢子

教職員（1名）

首席 播田 晃久

5. 次第

- ・開会の挨拶
- ・会長挨拶
- ・出席者紹介
- ・令和8年度 本校教育活動について協議
 - （1）令和8年度 学校経営計画及び学校評価について
 - （2）教務部より 令和7年度総括及び令和8年度取り組み内容等について
 - （3）令和8年度 行事予定について
 - （4）令和9年度 使用教科書選定について

- (5) 令和8年度 生徒の状況等について
- (6) 卒業年次生の進路及び令和8年度 進路希望調査について
- (7) 令和8年度 保健指導部行事日程について
- ・ 閉会の挨拶
- ・ 事務連絡

6. 議事の内容

・ 開会挨拶（准校長）

昨年度入学した生徒は全員進級し、学校へ登校する習慣の定着が見られた。今年度入学した1年生についても、登校習慣の定着に向けた支援を継続していく。また、不登校経験のある生徒が増加している状況を踏まえ、規則正しい学校生活の確立を重点目標として取り組む。

・ 会長挨拶

社会情勢や産業構造の変化により、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増している。生徒の進路選択においては、就職だけでなく進学も含めた多様な選択肢を示し、一人ひとりに応じた進路指導を進めることが重要である。

・ 協議事項

(1) 令和8年度 学校経営計画及び学校評価について

- ・ 昨年度第3回学校運営協議会で承認された内容を基に策定した。
- ・ 時間外在校等時間720時間以上の教職員ゼロを継続する。
- ・ 年間360時間超の教職員についてもゼロを目標とする。
- ・ 年次有給休暇取得平均16日以上を新たな目標として設定した。
- ・ 自動車整備士資格取得については、合格率だけでなく受験率を重視した指導体制を構築する。
- ・ 令和9年度から自動車整備士試験制度が変更されるため、動向を注視しながら対応する。
- ・ 学校ホームページによる情報発信の充実を図る。
- ・ 校内委員会業務の偏在解消に向け、各分掌から委員を選出する体制へ変更する。
- ・ 学校教育自己診断については設問数の見直しを進める。

(2) 教務部より 令和7年度総括及び令和8年度取り組み内容等について

- ・ 全学年で新学習指導要領に対応した教育課程となった。
- ・ 観点別学習評価について運用改善を進めている。
- ・ 新校務支援システム導入に伴う課題への対応を継続している。
- ・ 成績処理について複数教員による確認体制を整備する。
- ・ 定期考査は年間5回から4回に変更し、授業時数確保を図る。
- ・ デジタル採点活用に向けたマニュアル整備を進める。

(3) 令和8年度 行事予定について

- ・ 4月から9月を前期、10月から3月を後期として教育活動を実施する。
- ・ 秋季休業日については今年度2日間とし、今後の在り方について検討する。
- ・ その他の学校行事については概ね昨年度を踏襲する。

(4) 令和9年度 使用教科書選定について

- ・現在、令和9年度使用教科書の選定作業を進めている。
- ・運営協議会委員が今年度授業で使用している教科書の内容を確認した。

(5) 令和8年度 生徒の状況等について

- ・生徒の状況は概ね落ち着いている。
- ・一部生徒に対して授業中のスマートフォン使用に関する継続的な指導を行っている。
- ・生徒が理解しやすいよう、視覚的支援を取り入れた指導を行っている。
- ・交通安全教室では自転車の青切符制度についても指導した。
- ・部活動は昨年度より活発化している

(6) 卒業年次生の進路及び令和8年度 進路希望調査について

- ・昨年度卒業生7名は全員内定を獲得し、就職した。
- ・自動車系列卒業生2名は自動車整備士として就職した。
- ・今年度卒業予定者は8名である。
- ・うち2名が進学希望、その他は就職希望となっている。
- ・詳細な進路状況については第2回学校運営協議会で報告予定である。

(7) 令和8年度 保健指導部行事日程について

- ・生徒の心身の健康維持を目的として健康相談の充実を図る。
- ・生徒が安心して相談できる体制づくりを進めている。

質疑・意見交換

委員：春の遠足や球技大会について、他学年との交流に不安を感じる生徒もいるため配慮が必要ではないか。

准校長：全校生徒の交流を目的としているが、生徒会にも意見を伝え、運営の参考としたい。

委員：会社では計画的に休むことも研修するところもある。大阪府でも同じように研修しているのか

准校長：そのような研修は行っていない。休暇の取得に関して教員の働き方が統一されていないので、今後考えていく必要がある。

委員：年間平均年次休暇取得はどのように算出するのか。

准校長：ネットワークで年次休暇の取得日数や取得時間を管理しているので、算出することは可能である。

7. 閉会挨拶（准校長）

生徒が毎日登校できている現状を大切にしながら、より良い学校づくりを進めていきたい。今後も教職員や委員の皆様からご助言をいただき、生徒が「来てよかった」と思える学校づくりに努めていく。

8. 事務連絡（事務局長）

第2回は令和8年11月27日（金）に開催予定。

第3回は令和9年2月8日（月）に開催予定

令和8年6月13日（金）
大阪府立茨木工科高等学校
定時制の課程
准校長 南出 孝明